

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切にし信頼される医療を目指します。

「自遊花人水引ミュージアム」
第7病棟 看護師 松村 眞帆【撮影者】

夏 号
第70号

令和7年8月25日発行

能登半島・石川県×心魂 ～一緒に進もうプロジェクト～ 医王病院公演～奥能登公演に帯同して！

いしかわ医療的ケア児支援センターだより

意思決定支援等各種指針

～病棟での制作活動～

病院のホームページで献立表を見ることができます

医王病院のユニフォームが新しくなりました

日本ALS協会石川県支部 支部活動を再開しました！！

ご寄附をいただきました

市民公開講座とメディカルオーケストラ金沢コンサートのお知らせ

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図

能登半島・石川県×心魂 ～一緒に進もうプロジェクト～ 『医王病院公演～奥能登公演に帯同して』

療育指導室 川邊 祐樹・瀬尾 美咲

「100点満点をつけよう、塞ぎこむときも、
頑張った自分を褒めよう、満点をつけよう。
一緒に笑ったね、一緒に進んだね、
これからもずっと共に今を刻もう」

心魂プロジェクトさんが、医王病院の患者さんに、そして奥能登の方々に届けてくださった歌の一部です。日々病気と闘う患者さんにとって、そして震災被害から何とか日々を取り戻そうと頑張る方々にとって、心温まるそんなひと時となったことでしょう。

以前の医王病院ニュースでもご紹介させていただいたNPO法人心魂プロジェクト。劇団四季や宝塚歌劇団でプロパフォーマーとしてご活躍された方々が、病児、障害児、きょうだい児に向けて現地に足を運んでデリバリーパフォーマンスを行っている団体です。

能登半島の震災後、“石川県を元気にしたい”と、昨年の6月に医王病院や七尾方面など計5か所でパフォーマンスを届けてくださいました。そして1年後の今回は奥能登の珠洲も含めた全8か所、約2週間の大型ツアーを組み、再び医王病院にも来ていただけることとなりました。

医王病院公演は、地域医療研修室を会場にした第1部と、重心病棟と筋ジス病棟を2チームに分かれて周る第2部の2部制。

第1部は、プロジェクター、照明、国旗等で研修室がまさに劇場のように彩られ、会場に入るなり目をキョロキョロさせる患者さんも。パフォーマンスが始まると、普段は傾眠傾向にある患者さんがパッと目を見開き笑顔になったり、リズムに合わせて自分なりの表現をしたり、穏やかな表情でじっとパフォーマーを見つめたりと、様々な姿で楽しまれていました。



第2部は会場に行けなかった重症度の高い患者さんのもとへ向かい、リクエストにも応えてのパフォーマンス。目の前で歌っていただく迫力と、包み込むような雰囲気づくりに、患者さんも病棟スタッフもうっとりした様子でした。

たまたま面会に来られていて直接観られたご家族は、「こんな素敵なん見たの初めてや。ありがとう。みんな喜んどるわ。」と感動された様子でした。

奥能登公演では、心魂プロジェクトさんの“これまで頑張ってこられた方々に”との思いのもと、わずかな準備時間、わずかなスペースにも関わらず、熱のこもったパフォーマンスと幻

想的で幸せな空間が届けられました。来られた方々も、その想いに応えるように思い思いに楽しませていました。



また奥能登の2施設には、なにか力になれないかと、療育指導室から2名がお手伝いに伺いました。まだ震災の傷跡が残る箇所が多く、復興どころか復旧さえも手が届いていない状況。そんな現状を目の当たりにし心が痛みながらも、“なにかできることを”と私たちもさらに気持ちを熱くし、会場設営のサポートや会場前でのお出迎えをさせていただきました。



心魂プロジェクトさんは、パフォーマンスの最後に必ず「またね」と言ってその日の公演を締めくくります。日々闘う皆さんにとって、明日という日がとても大切で、また会うことが簡単ではないと分かっているからこそ、あえて「またね」と約束して終えるそうです。

私たち病院スタッフも、毎日を大切に、毎日がかげがえのない日になるよう、そんな気持ちを持って日々患者さんと向き合っていきたい、そんな想いにさせていただきました。

今回の素敵なパフォーマンス、そして個人的には心魂プロジェクトに帯同させて頂いた2日間を胸に、患者さんとの時間を過ごしていきたいと思います。



いしかわ医療的ケア児
支援センター

だより

主任医療社会事業専門職 中本 富美

いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」を開設し、3年が経ちました。私たちは子どもたちが石川県の地で生き生きとそのいのちを輝かせ生活していけることを目的として活動をしています。そして活動のすべては医療的ケアが必要な子どもたちやご家族、子どもたちにかかわるすべての支援者の方の協力によってつくられています。

今回は第72回日本小児保健協会学術集会における「このこの」の活動について報告いたします。

【シンポジウム】「能登半島地震と小児保健」

医療アドバイザー丸箸医師から能登半島地震発災当時から小児周産期リエゾン、小児呼吸器地域ネットワークの医師たちと当センターが連携し、医療的ケアが必要な子どもたちの無事を確認、被災状況の把握、必要な支援について報告しました。また当センターが当事者・家族会とともにやっている災害支援の取組みについても紹介し、今後も継続的に「子どもたちを災害から守る」取組みを行っていくことを発信しました。



本日のお話

- 石川県における医療的ケア児の現状と支援体制
- 災害時小児呼吸器地域ネットワーク
- 発災からの医療と多職種の連携
- 事例提示
- 思うこと、課題
- その後の活動



【このこの写真展】

会期中、ポスター会場にて写真展を行いました。90点に及ぶ子どもたちのかわいい表情に参加者の方々の笑みがほころんでいました。見ていただいた方から「癒される」「がんばっているんだなあ」「自分たちの身近なところに生活していることをあらためて感じられた」などの感想も寄せられました。



【市民公開シンポジウム】「よりそう・つながる・ひろがる」

親の会・自治体・支援団体がともに手を取る「いしかわの形」をめざして

石川県内にある障がいがある子どもたちの当事者・家族会の代表4名の方々に登壇いただき、それぞれの団体の活動紹介をしていただきました。各団体の歴史や活動内容もさまざまでしたが、「子どもを真ん中に」「石川の地で子どもが大切に育まれる環境づくり」「お互いの活動を尊重しつつ、ゆるやかなつながりを大切にしていく」というメッセージが報告されました。



意思決定支援等各種指針

【身体拘束等最小化チームの紹介】

看護部 酒谷 麻梨菜

身体拘束は患者さんの権利である自由を制限し、その尊厳を侵害するとされています。当院は、患者さんの尊厳と主体性を尊重し、身体拘束を行わない医療・看護の提供を目指し、今年度より「身体拘束等最小化チーム」を発足しました。

チーム発足後、最初に身体拘束等最小化のための指針を改めました。「身体拘束は廃止すべきものである」、「患者さんの人権を最優先する」、「身体拘束を行った場合、廃止する努力を怠らず、常に身体拘束ゼロを目指す」等の基本方針を掲げています。

次に、「身体拘束等最小化チーム」の具体的な活動についてご紹介いたします。このチームは医師・看護師・薬剤師・専門職・保育士・ソーシャルワーカー等多職種で構成され、身体拘束廃止および解除に向けた活動として、定期的に院内ラウンドを実施しています。ラウンドでは多職種の視点を含め、病棟スタッフとともに身体拘束解除に向けた具体的な取り組み内容についてカンファレンスを行っています。

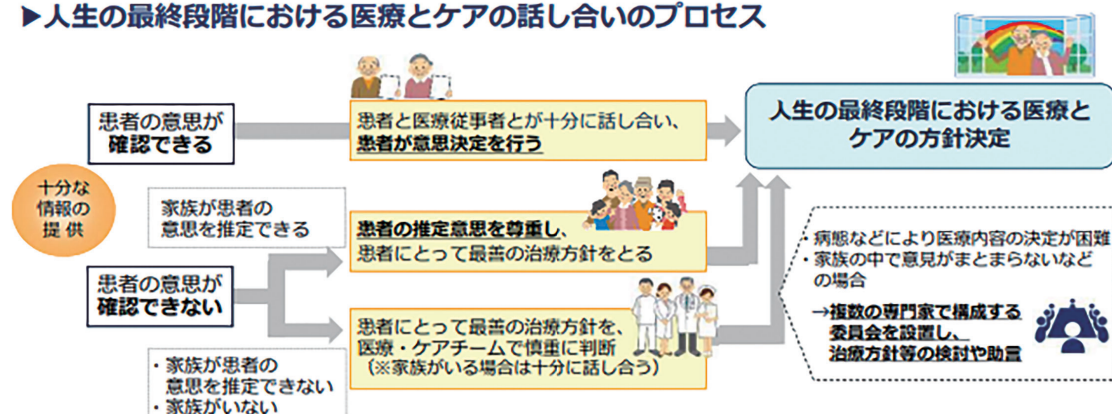
病院内すべての医療者が一丸となり、患者さんの尊厳を守り、拘束による身体的・精神的弊害を避けるため、拘束廃止に取り組んでいきます。なお、身体拘束等最小化のための指針は、患者さんおよびご家族が自由に閲覧できるよう、ホームページに公表しておりますので、ぜひご覧ください。

【人生の最終段階における医療・ケアのあり方と意思決定支援に関する指針について】

看護部 岡畑 直也

人間には誰も将来、不可避の事象である死が訪れます。当院では、人生の最終段階を迎える患者ご本人が、その人らしい最期を迎えられるよう、患者ご本人とご家族が、医療・ケアチームとの十分な話し合いのもと、ご本人の意思と権利を尊重した医療・ケアの方針を決定できるよう支援させていただきます。この指針は、令和7年5月22日より施行されており、当院のホームページにも公表しておりますのでぜひご覧ください。

▶人生の最終段階における医療とケアの話し合いのプロセス



(厚労省, 2017一部改変)

～病棟での制作活動～

療育指導室 七黒 由梨

過ごしやすい春も短く、もう暑い日々がやってきましたね。

今回は水とアルミホイルを使ったにじみ絵での制作の紹介をします。

患者さんにはマジックの色を選んでもらい、一緒にアルミホイルにお絵描きをします。そこに霧吹きで水をかけ、画用紙をくっつけるときれいなにじみ絵になります。

① 水性マジック選び



③ アルミホイルに描くよ！



② 霧吹きかけて



④ 画用紙ペタン！



⑤ 好きな形に切って完成！



いろんなきれいな画用紙で“夏といえば！”なアイスクリームやかき氷、うちわ、金魚鉢、朝顔をつくりました。マジックの色を2～3色と伝えて選んでももらいましたが、患者さんによっては5色6色選ばれる方も！少ない色でも多い色でもきれいな作品になりました。

まだまだこれから暑い日も、この作品を見て少しでも涼めたらいいと思います。



病院のホームページで献立表を見ることができます

栄養管理室長（管理栄養士） 島田 真理

栄養管理室は管理栄養士3名、調理師4名、事務員1名、食器洗浄員5名と給食委託会社のスタッフ16名（栄養士・調理師・調理員）の計29名で運営しています。管理栄養士が献立作成を行い、医師の指示のもと、患者さまの病状や容体に応じて適切な食事を提供しています。また、衛生管理に力を注ぎ、安心安全な食事を提供しています。

栄養管理室の取り組みとして、病院のホームページに献立を掲載しています。掲載している献立は「常食」「極軟菜食」「ミキサー食」「まとまりマッシュ食」「ソフト食」の5つになります。

毎月、月末にデータを更新しているので病院食の献立にご興味のある方は「医王病院ホームページ」をご覧ください。

食 種	説 明
常食	食材や調理方法に制限のない食事
極軟菜食	やわらかい食材を調理した食事
ミキサー食	極軟菜食をミキサー状にした食事
まとまりマッシュ食	食材をフードプロセッサーで攪拌後、ゲル化剤を加えて固めた食事
ソフト食	ムース状の食事

【閲覧方法】

「医王病院ホームページ」を検索。(https://iou.hosp.go.jp/)

「トップページ」⇒「更新情報」⇒「献立を更新しました」をクリックすると「献立表」のページになります。食事の写真も掲載しています。

更新情報

2025.07.01 第15回日本神経病理学会東北陸地方会開催のこ

2025.06.27 病院ニュース第69号を掲載しました

2025.06.27 病院ニュース第68号を掲載しました

2025.06.26 契約情報の公開を更新しました。

2025.06.25 栄養管理室の7月の献立表を更新しました

2025.06.20 入札公告を掲載しました（1件）

2025.06.11 入札公告を掲載しました（1件）

2025.06.06 入札公告を掲載しました（1件）

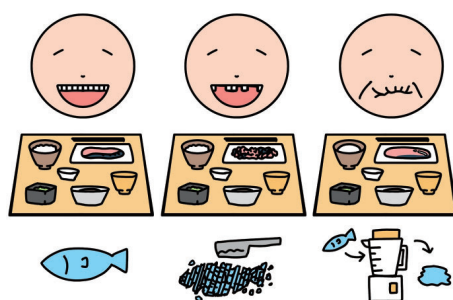
➡

栄養管理室

献立表

※食材の仕入れ状況など、都合により内容を変更することがあります。

常食	7月上旬	7月下旬	6月上旬	6月下旬
極軟菜食	7月上旬	7月下旬	6月上旬	6月下旬
ミキサー食	7月上旬	7月下旬	6月上旬	6月下旬
まとまりマッ				
シュ食	7月上旬	7月下旬	6月上旬	6月下旬
ソフト食	7月上旬	7月下旬	6月上旬	6月下旬



医王病院のユニフォームが新しくなりました

契約係長 杉浦 元樹

今回、当院では令和7年6月より白衣のリニューアルを行いました。

白衣の着用には、衛生、災害予防、制服としての機能があり、職員が動きやすく通気性の良い白衣を使用しております。また、当院では、患者さんから分かりやすいように職種毎に白衣の種類を分けております。

今回の白衣選定に当たっては、各職場長から出された意見を集約しながら、各職場との差別化およびバランスを考慮し、契約手続きを進めてまいりました。

例えば写真にあるように看護部においては爽やかなイメージを、医局においてはフォーマルなイメージで選定をしました。

全体的に前回の白衣に比べ華やかな印象をもち、患者さんから見てもより分かりやすくなったのではないかと思います。

<一例でいくつかの職種をご紹介します>



日本ALS協会石川県支部 支部活動を再開しました!!

医療社会事業専門員 小田 輝実

2023年度より活動を休止されていた日本ALS協会石川県支部が、2025年6月15日に総会を実施し、支部活動を再開することとなりました。

医王病院もALS協会石川県支部と協力して、ALS患者さんの療養生活の支援を行っています。

会では、患者さん・ご家族・支援者での交流を通して、日々の療養生活での悩み、生活の工夫など様々なことについての情報交換、研修会や相談会等の開催、ALS患者さんの暮らしのために必要な支援を提案、発信していきます。

みなさんがつながり、支えあい、“ALSと共に生きる”を大切にしていっしょに活動していきましょう。



支部長あいさつ

総会で承認され支部長となりました、萩志津子と申します。

ALS協会石川県支部が二年ぶりの再開となります。これまで石川県支部を運営されてこられた方々、また、再始動にご尽力された方々に、感謝を申し上げます。

何もできない私が、支部長で良いのだろうかとの思いはありますが、石川県支部が再始動にあたり、微力ではありますが力添えが出来ればなあと思っています。

再始動に当たっては、スタッフも新しくなり、手探り状態ですが頑張っています。

一人でも多くのかたに協会に加入していただき、患者、家族のかたがたとの繋がりを持ちたいです。心細く、不安に思っていることが、交流会などで少しでも小さくなればよいなと思っています。

この先やることは山積ですが、同病者、ご家族、支援者さま他の皆様、是非、石川県支部にご加入していただきたいと思っています。

皆で力を合わせて、良い石川県支部にしていきたいと思います。

宜しくお願いいたします。

日本ALS協会石川県支部 支部長 萩 志津子



入会ご希望の方は、ALS協会石川県支部事務局までご連絡ください。

日本ALS協会石川県支部事務局（担当：高島）

石川県金沢市近岡町388番地1 なないろ訪問看護ステーション内

TEL：076-254-5740 Mail：jimukyoku@als-ishikawa.com

ホームページ：http://als-ishikawa.com



ご寄附をいただきました

事務部長 花森 弘充

この度、和田 清聡 様より当院の療養環境の充実のため、温かいご寄附を頂きました。この場をお借りしまして、職員一同、心より感謝申し上げます。

頂きました寄付金につきましては、ご寄附の目的に沿って大切に活用させていただきます。



市民公開講座とメディカルオーケストラ金沢 コンサートのお知らせ

このたび、「国立病院総合医学会」が金沢駅前の石川県立音楽堂コンサートホールで開催されます。これに合わせて、地域の皆様を対象とした市民公開講座が開催されます。

今回のテーマは「能登半島地震をこえて～地域の絆と命を守る力～」。能登半島地震の経験から得られた教訓を共有し、災害時に命を守る力について学びます。

また、医療従事者が奏でる「メディカルオーケストラ金沢」の演奏会も開催されます。

災害への備えの学びと心の安らぎを得られる貴重な機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・日 時：11月8日（土）
 - ・市民公開講座：13時10分～
 - ・メディカルオーケストラ金沢：15時05分～
- ・場 所：石川県立音楽堂コンサートホール
- ・参加費：無料

詳細は学会ウェブサイトをご確認ください。 <https://www.congre.co.jp/79nms/>





国立病院総合医学会

輪・環、そして和
——未来への「わ」の創成——

11月8日(土) 入場無料／定員500名
▶13:10～14:40
市民公開プログラム
テーマ
能登半島地震をこえて
～地域の絆と命を守る力～
▶15:05～15:50
メディカルオーケストラ金沢
コンサート
会 場 石川県立音楽堂コンサートホール



<https://www.congre.co.jp/79nms/>

< 医王特別支援学校の様子 >

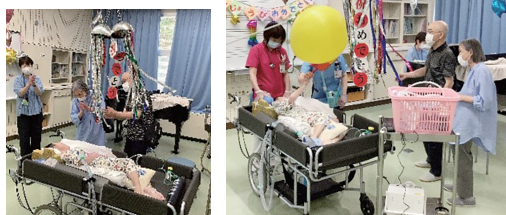
オーケストラ鑑賞会（6月4日）

金沢市の文化鑑賞事業の一つとして、石川県立音楽堂でオーケストラ鑑賞会が開かれました。本校の中学部1年生の生徒が参加し、市内の中学1年生と一緒に素敵な生演奏を鑑賞しました。



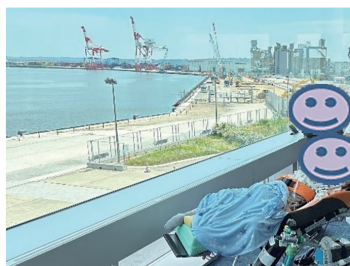
院外学習（6月25日）

病棟訪問教育の生徒が学校で活動する「院外学習」がありました。学校では誕生会があり、みんなから祝福を受け、風船バレーで盛りあがりました。短い時間でしたが、学校の様子を感じたり、病棟ではできない体験を楽しんだりすることができました。



校外学習（6月18日）

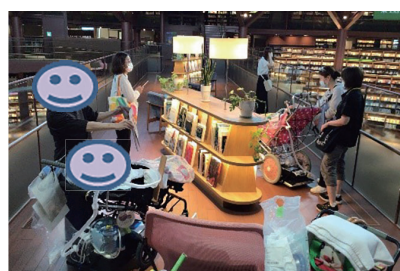
病棟訪問教育部の3名が、金沢港クルーズターミナルに行ってきました！当日は晴天に恵まれ、朝から気温が高い日でしたが、皆体調を崩すことなく参加できました。おしゃれをして、ご家族と一緒にターミナルを回り満喫しました。



校外学習（7月2日）



県立図書館へ！梅雨の合間のいいお天気。涼しい館内をたづねると探索したり本を読んだり、楽しい思い出ができました。



行事や日常の授業の様子、自然に囲まれた校舎の様子など、ここでは紹介しきれなかったことがたくさんあります。学校ホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、・・・
<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iouxxs/>
 パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。



～ 外来診察のご案内 ～



【診察時間】

内 科

診察受付/午前 8:40～11:30
診察時間/午前 9:00～12:00

小児科

診察受付/午前 8:40～11:30
診察時間/午前 9:00～12:00

【休 診 日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	細野 (越野/山田)	中村 (大学医師 /加藤)	脇坂 (大学医師 /細野)	細野 (大学医師 /丸箸)	越野 (大学医師 /山田)
午後		午後は専門外来のみしています				

- ・健診、ワクチン是要予約⇒火曜日の14:00～15:00 枠で対応。
- ・医師の出張等により急遽担当が変更になることがあります。

●専門外来（要予約）

<子どものこころ> 中村
<言語/発達> 中村・脇坂・加藤
<神経/てんかん> 脇坂
<重症心身障害児・医ケア児> 丸箸
<筋ジストロフィー> 脇坂
<肥満・内分泌> 山田

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	交代制	田上	交代制	交代制	田上
	脳神経内科 (再診)	疋島	駒井 本崎	石田 高橋	駒井 本崎	石田 朝川
	脳神経内科 (初診)				本崎 11:00~11:30	朝川 9:00~10:30 石田 11:45~12:30
	呼吸器内科		田上			田上
午後	脳神経内科 (初診)	疋島 13:00~14:00				

- ・脳神経内科の受診は電話予約が必要です。内科外来へお問い合わせ下さい。

●皮膚科

診療科	月	火	水	木	金
午後	一 般	大学医師		大学医師	

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただく必要があります。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようにお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

職員募集

詳しくは病院ホームページまたは管理課 庶務班長までお気軽にお問合せ下さい



独立行政法人
国立病院機構 **医王病院**
北陸脳神経筋疾患センター

●交通アクセス

・IR森本駅より徒歩15分 ・北陸自動車道 森本ICより車で5分 ・山側環状線より車で5分

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <https://iou.hosp.go.jp/>

■発行者 医王病院 ■発行人 石田千穂 ■発行日 令和7年8月25日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷